

第82期中間報告書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

株式会社 **チノ**

証券コード：6850

上期の業績について

当第2四半期におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景とした堅調な設備投資や生産活動により企業収益や雇用環境が改善し、景気の持ち直しの動きが続きました。一方で、世界経済は、EU諸国の政治動向、北朝鮮問題などの地政学リスク要因により、先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社グループは半導体・電子部品、新素材、エネルギー、ライフサイエンス等の成長産業に向け、戦略的に市場を開拓するプロジェクトを展開したほか、グループ会社とのコラボレーションを強化し、シナジー効果の向上を図りました。

当第2四半期につきましては、受注高は100億円を超え前年同期比で18.5%増、売上高は同14.8%増の業績を確保しました。売上高につきましては、計測制御機器、計装システム、センサなどすべてのセグメントで前年同期を上回りました。これに伴い、利益面も好調に推移し、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも増益となりました。

中間配当につきましては、第2四半期として未だ安定的な高収益の確保には至っておらず、誠に遺憾ながら配当を見送ることといたしました。今後できるだけ早期に株主の皆様への負託に応えられますよう、持続的な増収増益の実現に向け、事業基盤の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

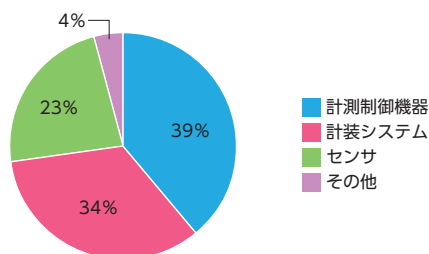
連結財務ハイライト

◆当期の概況

(単位：百万円)

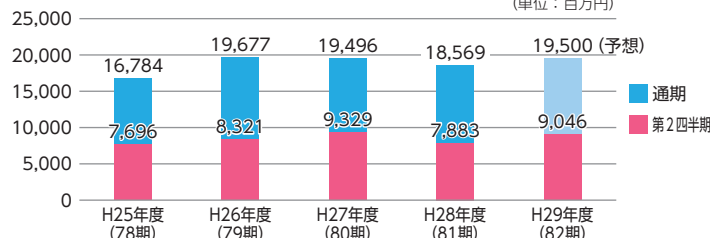
	前第2四半期	当第2四半期	増減
受注高	8,952	10,608	1,656
売上高	7,883	9,046	1,163
国内売上高	6,452	7,326	874
海外売上高	1,430	1,809	379
営業利益	47	258	211
経常利益	9	312	303
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は純損失(△)	△62	170	232

◆セグメント別売上構成



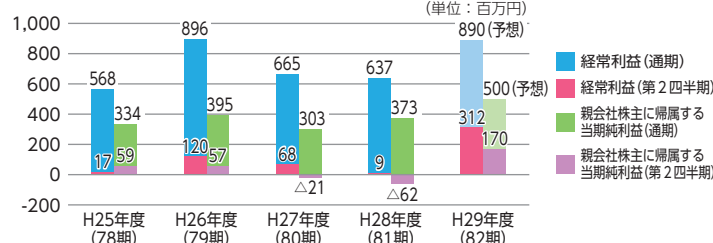
◆連結売上高の推移

(単位：百万円)



◆経常利益 親会社株主に帰属する当期純利益の推移

(単位：百万円)



「2020年に向けて チノールの展望を語る」

トップ対談

代表取締役会長

荻谷 高夫

代表取締役 社長執行役員

豊田 三喜男



－新体制がスタートして3ヶ月が経った現状をどのように評価されていますか？

荻谷－上半期の業績は、目標を達成し黒字で締めくくることができました。また、通期の業績についても計画を達成できる見込みです。そういう意味では、新体制は大変いい形でスタートすることができました。

豊田－上半期を黒字とすることができたのは、従来より進めてきた地道な施策の成果が現れたものと考えます。今後はこの成果をベースにしてさらなる発展を目指し、前進していきたいと思っています。新体制づくりという面ではまだまだ発展途上ですが、チノールの経営理念である“産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献”すべく、取組みを進めていきます。

荻谷－現段階での課題といえば、先に言われた発展途上にある体制をどう構築していくかということではないでしょうか。グループ会社間のシナジーの発揮や、各部門間の横断的な取組みが重要となってくるでしょう。

豊田－各グループ会社、各部門がそれぞれの事業を強化するための体制を整え、管理部門を含め調達、生産部門などの業務効率化を進めて生産性を高める必要があると考えています。さらに、グループとしてのベクトルを統一するためにも、チノーグループの経営理念や、昨年創立80周年に制定した「Measure with Passion～温度を極める～」というスローガンを社員一人ひとりが自分自身の思いとして強くし、それを具体的に計画化し実行していくことが大事だと思います。

－2020年に向けた、今後の戦略について教えてください。

荻谷－2020年に向けた中期的な戦略としては、チノーが得意としてきた熱処理分野をはじめとする既存コア事業を着実に伸展させ、さらに新たな成長分野の需要開拓を積極的に進めることで、持続的な成長軌道の構築と企業価値の向上に努めます。

豊田－現在策定を進めている新たな中期経営計画では、“温度のチノー”として、

①温度ソリューションにおいて、グローバルナンバーワンを目指す

②現場に密着したエンジニアリング活動により、顧客に感動される企業を目指す

③全てのステークホルダーを尊重し、企業価値の向上と持続的成長を目指す

という3つのビジョンの実現を目標に掲げています。そのために、新たな成長分野として、半導体・電子部品、電気自動車をはじめ様々な製品のキーテクノロジーとして期待の大きい二次電池、航空機や自動車の軽量化を中心に利用拡大が進む新素材・高機能材料、さらには高齢化社会の中で重要性を増す医療医薬などの市場に向けて特長ある製品とソリューションを開発し、生販一体で業容の拡大に取り組みます。

荻谷－人財開発、更なるコスト構造の改善を中心とした経営基盤の強化に取り組むことはもちろんのこと、これまで積極的に進めてきた海外展開を一段と拡大していきます。

豊田－海外事業については、各国の経済状況や成長性を勘案し、エリアごとに販売・サービス・生産体制を拡充し、海外比率を高めていきます。

－最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

荻谷－当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の最重要責務の一つとして捉え、安定的な配当の継続に努めてまいりました。今後も引き続き株主の皆様への安定的な利益還元のために持続的な成長に取り組んでまいります。

豊田－当社グループが目指す2020年に向けた成長ビジョンに是非注目していただきたいと思います。

私たちチノーグループは、今後とも株主の皆様をはじめとするステークホルダーに一層信頼される企業となることを目指し、グループ一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

固定形熱画像計測装置「サーモピクス」CPA-Lシリーズ(Ver.4)を発売

平成29年5月に固定形熱画像計測装置「サーモピクス」CPA-Lシリーズ(Ver.4)を発売しました。

特長

この製品は、新たにシャッターレス構造を採用することで、高速・連続の温度計測と従来機と同様の高精度、高安定性を両立しています。

導入例

この製品を使うことで、コンベヤー上を移動するコークスの発火検知や取鍋表面の温度を面で監視でき、生産現場の安全性向上に貢献します。



携帯形放射温度計IR-HAシリーズを発売

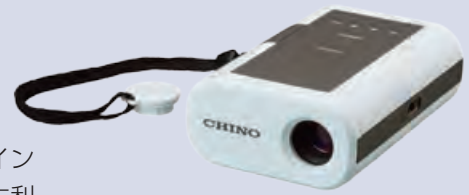
平成29年6月に携帯形放射温度計IR-HAシリーズを発売しました。

特長

この製品は、お客様のニーズに合わせて測定温度範囲の異なる3機種をラインアップするとともに、バックライトの照度アップによる視認性向上や左右利き腕に対応した設計など、使いやすさを追求しました。

導入例

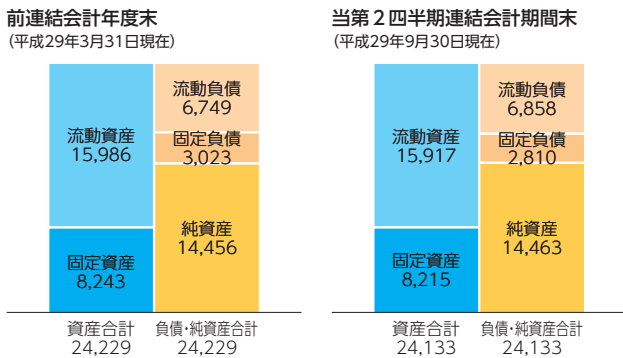
この製品を使うことで、鍛造・鋳造ラインなどの過酷な環境下においても、ユーザーへの負担を軽減しつつ、ピンポイントで高精度な温度計測が可能です。



連結財務情報

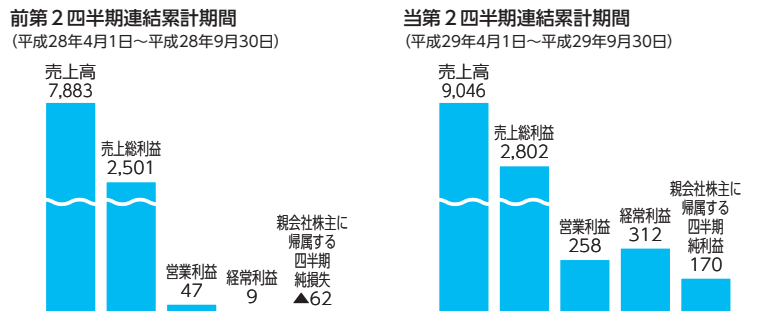
◆連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



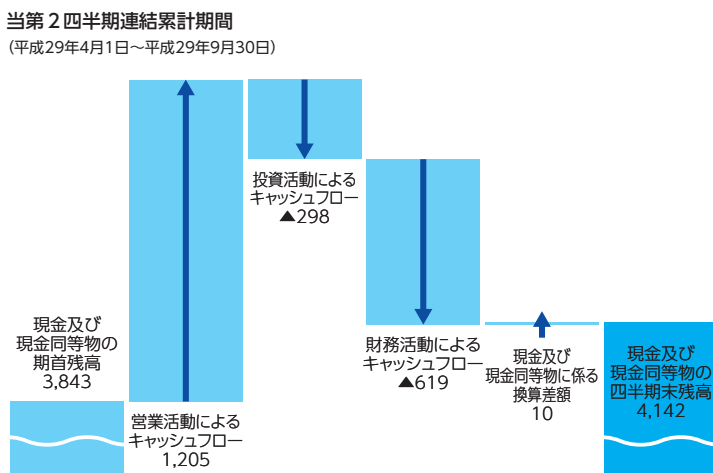
◆連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



◆連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



財務のポイント

【連結キャッシュフロー】

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

主な収入は、税金等調整前四半期純利益342百万円に減価償却費394百万円を加算、売上債権の現金化589百万円等の増加であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

主な支出は、有形固定資産の取得195百万円、有価証券の取得100百万円、無形固定資産の取得54百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

主な支出は、短期借入金の返済104百万円、長期借入金の返済141百万円、配当金の支払297百万円等であります。

会社概要

(平成29年9月30日現在)

- ◆商号 株式会社 チノー
- ◆英文商号 CHINO CORPORATION
- ◆創業 大正2年3月
- ◆設立 昭和11年8月1日
- ◆資本金 4,292百万円
- ◆従業員数 (連結) 1,011名 (単体) 664名
- ◆本社 〒173-8632
東京都板橋区熊野町32番8号



役員	
代表取締役会長	荻谷高夫
代表取締役社長執行役員	豊田三喜男
取締役専務執行役員	吉田幸一
取締役常務執行役員	松本正
取締役常務執行役員	清水孝雄
社外取締役	吉池達悦
社外取締役	生田一男
常勤監査役	斉藤卿是
社外監査役	原沢隆三郎
社外監査役	山下和彦
常務執行役員	久永達夫
常務執行役員	松岡夫学
常務執行役員	福浦正人
執行役員	西口明彦
執行役員	鈴木貞二
執行役員	大森一正

主な事業拠点

名称	所在地
本社・技術開発センター	東京都板橋区
東日本支店	東京都板橋区
大阪支店	大阪府吹田市
名古屋支店	愛知県名古屋市
サービスエンジニアリング事業部	埼玉県久喜市
海外事業統括部	東京都板橋区
民生機器営業部	東京都板橋区
藤岡事業所	群馬県藤岡市
久喜事業所	埼玉県久喜市
山形事業所	山形県天童市

株式の状況

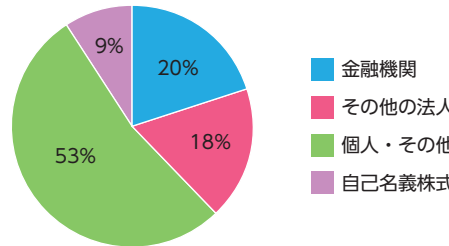
(平成29年9月30日現在)

- ◆発行可能株式総数 23,820,000株
 - ◆発行済株式の総数 9,260,116株
 - ◆株主数 5,681名
- ※平成29年7月11日開催の取締役会決議により、平成29年7月31日付で自己株式の消却を実施したため、発行済株式数は300,000株減少し、9,260,116株となっております。
- ◆大株主

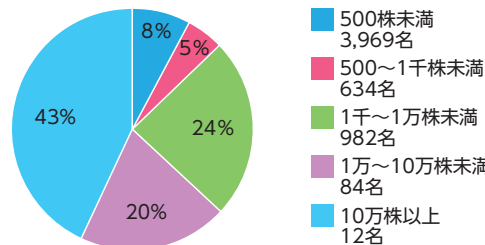
株主名	持株数	持株比率
チノー取引先持株会	1,009千株	10.89%
チノー従業員持株会	441	4.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	3.66
株式会社りそな銀行	260	2.80
株式会社ニッコー	207	2.24
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	186	2.01
株式会社北浜製作所	182	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	179	1.93
日本生命保険相互会社	160	1.72
株式会社共和電業	140	1.51

持株比率は自己株式(786千株)を控除して計算しております。

◇所有者別分布状況(所有株式比率)



◇所有株数別分布状況(所有株式比率)



株主メモ

- ◆決算期日 3月31日
- ◆定時株主総会 6月下旬
- ◆配当金受領株主確定日 3月31日、9月30日
- ◆基準日 3月31日
- ◆公告方法 当社ホームページ
(<http://www.chino.co.jp>)に掲載しております。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- ◆上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- ◆株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
- ◆単元株式数 100株

株式事務手続きのご案内

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座にて株式を管理されている場合の各種お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

CHINO 株式会社 **チノー**
〒173-8632 東京都板橋区熊野町32番8号 TEL 03-3956-2111 (大代表)

